

## 妙高チャレンジスキーキャンプ

- 開催日 2019年1月5日～1月7日
- 会場 国立妙高青少年自然の家/赤倉温泉スキー場(新潟県妙高市)
- ディレクター名 村中達哉(むらじ)

### ■キャンプのねらい

- スキー技術の習得・向上を目指す中で得られる「できた!」という自信や達成感を大切に
- 自信や達成感を通して、スキーに対する前向きな気持ちや向上心を育む

### ■同行スタッフ(キャンプネーム)

ばるさん、ペッタ、じもん、レッサー  
らむ、まいまい、のり、こっこ、しお、りる

### ■活動内容

<1日目>  
集合、施設到着  
ブーツ・板合わせ  
足慣らしレッスン

<2日目>  
朝のつどい  
スキーレッスン①  
スキーレッスン②  
キャンドルファイヤー

<3日目>  
スキーレッスン③  
施設出発、解散



さっそくスキーのスタート!雪の感触に慣れる事から始まりです。



経験者班は、緩斜面を使って思い出しレッスンをしました。



最後に新雪へみんなでダイブ。ふわふわの雪はやっぱり最高です。



待ちに待った夕食。お腹を空かせた子どもたちは残さず全て完食です。



夜はゲーム大会。みんなで盛り上がりました。



2日目はお待ちかねのスキー場へ!さっそくレッスン開始です。



経験者班はみんなでトレイン滑走。列をつくり滑走していきます。



1日丸々スキー!たくさん滑り、各々の課題を克服していきます。



初心者班は、「八の字」を作って滑る練習をしました。



経験者班は、カメラに向かってピースサイン。余裕の表情です。



自分で滑れるようになったとき、自然に笑みがこぼれます。



夜はキャンドルファイヤー。ろうそくの灯りを全員で囲みました。



キャンプカウンセラーのゲームに子どもたちも興味津々。



歌って踊って終始笑いの絶えない夜となりました。



スキー最終日。天候に恵まれ、空は青く晴れ渡っていました。



初心者班は、「ハの字」を作り、堂々と目線を上げて滑っています。



経験者班は、体重の移動もしっかり出来るようになりました。



3日間たっぷりスキーを堪能しました。また一緒に滑ろう！

## ■キャンプのエピソード

### 初めて出来た感動

初心者班は、何もかもが初めての事ばかり。慣れないブーツにスキー板。初めてスキーを履く子どもたちは、「何か、ロボットになったみたい。」となかなか思うように歩けない自分をそう表現していました。

そして、スキー板を履いていざ雪上を滑ってみますが、バランスを崩して転んでしまいます。ですが、そんなことで子どもたちは諦めませんでした。どんなに転んでもすぐ起き上がり練習する姿がそこにはありました。

そして、ついに自分の力で滑れるようになったとき、転ばずに滑る事が出来た達成感。初めてリフトに乗れた嬉しさ。それら全てが詰まった、輝くような笑顔を見ることが出来ました。

### もっと滑りたい！

あっという間だった妙高チャレンジスキー。毎日スキーをしましたが、夢中になってスキーを滑っていた子どもたちは、まだまだ滑り足りなかったようです。

スキーの終了時間も間近に迫り、最後のリフトに乗った時の事です。「もう一回リフトに乗りたいよー。」「もっと滑りたいよ！」とキャンプカウンセラーにねだる子どもたちがいました。自分の上達に手ごたえを感じると共に、スキーを滑る楽しさや喜びを知ったからこそ出てきた言葉だったのではないのでしょうか。まだまだスキーがしたい子どもたちは、終了時間ギリギリまでスキーを楽しむ姿が見られました。

また一緒にスキーキャンプで滑れるのを楽しみに待っています！